

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第39回）の審議要旨

- 1 日 時 令和6年8月6日（火）10:00～10:45
- 2 場 所 山口県産業技術センター 多目的ホール
- 3 出席者 山田委員長、岡藤委員、山崎委員、吉村委員
(委員長以外50音順)

《内 容》

I 報告事項

- ・ 前回評価委員会（第38回）における質問に対する回答等について
→ 補足資料1・2により、法人から説明
- ・ 前回評価委員会の審議要旨について
→ 資料1により、事務局から説明
《各委員了承》

II 審議事項

- 令和5年度における業務の実績に関する評価について
- 第3期中期目標期間における業務の実績に関する評価について
→ 資料2・3により、事務局から説明

《資料説明後、質疑応答・意見交換》 ●委員

I 令和5年度における業務の実績に関する評価について

＜中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進及び「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化について＞

- 中項目「成長産業の発展に向けたイノベーションの推進」に比べると点数が低くなっている。成果がすぐには出にくいところだと思うが、重要な項目であるので、県内中小企業への支援の更なる充実に向けて、しっかりと取り組んでいただきたい。

＜技術支援サービスの充実について＞

- コロナ後の変化に柔軟に対応しながら技術支援サービスを提供しており、引き続き技術支援サービスの充実に向けて努めていただきたい。

＜経済的効果の調査結果について＞

- 経済的効果額が約11億円ということで、県内企業への貢献度の高さがうかがえる。引き続き頑張っていたいただきたい。
- 評価書素案に対して特段修正を求めず、「原案のとおりとすることが適当」として知事に意見書を提出することとする。
《各委員了承》

Ⅱ 第3期中期目標期間における業務の実績に関する評価について

<情報発信について>

- 情報発信の効果はすぐに表れるものではないが、企業だけでなく、一般の方、特に次世代の産業を担う方に分かりやすく情報発信をすることにより、大項目「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の評価がより良い評価となることを期待する。

<DXの取組に関する情報発信について>

- 経営戦略室の下、DXに積極的に取り組んでいる。中小企業の中には、DXを上手く進められていない企業もあると思うので、例えば、中小企業が集まる場において、センターの取組について紹介してはどうか。

<多様化する企業ニーズへの対応に向けた組織体制の整備について>

- 情報通信関連技術が急速に進展しており、第4期中期目標期間中においても、産業構造が大きく変化していくことが想定される。それに伴い、企業からの相談内容も多様化していくと考えられるため、しっかりと対応できるよう体制を整備していただきたい。
- 評価書素案に対して特段修正を求めず、「原案のとおりとすることが適当」として知事に意見書を提出することとする。
《各委員了承》